

平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年5月13日

上場会社名 株式会社タカトリ

上場取引所 東

コード番号 6338

URL <http://www.takatori-g.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 吉郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 岡島 史幸

TEL 0744-24-8580

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の業績（平成27年10月1日～平成28年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	4,135	13.4	192	—	219	—	187	—
27年9月期第2四半期	3,647	20.5	△101	—	△77	—	△87	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	34.26	—
27年9月期第2四半期	△16.04	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第2四半期	8,703	4,632	53.2	848.43
27年9月期	7,951	4,496	56.5	823.52

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 4,632百万円 27年9月期 4,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年9月期の業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	33.1	200	—	338	—	230	—	42.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年9月期2Q	5,491,490株	27年9月期	5,491,490株
28年9月期2Q	31,042株	27年9月期	31,042株
28年9月期2Q	5,460,448株	27年9月期2Q	5,460,448株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国では内需主導による景気の拡大局面が続き、欧州においても民間消費の緩やかな回復が続いております。一方で、中国経済の減速が継続しているほか、米国でも利上げペース次第では金融市場への影響が大きく、欧州においても地政学リスクが高まるなど、先行きは不透明な状況となっております。

一方、国内経済は、中国や新興国経済の減速に加え、米国の資源セクター向けの資本財輸出が減少していることから輸出が低調であり、高水準の在庫を抱える企業の生産活動は弱含んでおります。今後についてみれば、企業が賃上げには依然として慎重な姿勢を崩していないなか、個人消費の回復は力強さを欠く展開が続くとみられ、景気回復は引き続き足踏みの状況となる見通しであります。

このような経済環境の中、当社が関わる電子部品業界においては、主力であるスマートフォン向けでは高機能化に向けて1台当たりの部品搭載点数が増加傾向にあるほか、自動車パーツの電装化による需要拡大もありプラス成長を維持しております。今後も自動車の更なる電装化進展やI o T(モノのインターネット化)普及による電子部品需要の増加が期待されますが、中国経済の減速等の影響からスマートフォン自体の台数成長は頭打ちになりつつあるうえ、需要の新興国シフトや最終製品メーカー間の競合激化に伴う一段の価格低下もあり、市場環境は楽観視できない状況となっております。

このような状況の中、電子機器事業では液晶製造機器及びMWS(マルチワイヤーソー)の販売額は減少したものの、全体的には堅調に推移いたしました。また、繊維機器事業についても堅調に推移いたしました。

損益面につきましては、積極的な営業展開に加え、製造コストの低減及び諸経費の圧縮に努めた結果、当第2四半期累計期間の売上高は41億35百万円(前年同四半期比13.4%増)、営業利益は1億92百万円(前年同四半期は営業損失1億1百万円)、経常利益は2億19百万円(前年同四半期は経常損失77百万円)、四半期純利益は1億87百万円(前年同四半期は四半期純損失87百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電子機器事業)

液晶製造機器では、スマートフォン及びタブレット等の高機能携帯端末市場は堅調であったものの、国内外の大手液晶パネルメーカー及びEMSメーカー(受託生産企業)が設備投資を先送りしたことにより、小型液晶パネル用偏光板貼り付け機並びにその周辺機器の需要が低調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。

半導体製造機器では、省エネルギーで注目を集めているパワー半導体メーカー、車載用ICチップメーカー及びスマートフォン関連の国内外のチップメーカーからの装置需要が好調に推移いたしました。また、LED市場においても照明用LEDチップ製造が拡大したことや、特に最先端デバイス研究開発用の装置に対する設備投資に拍車がかかり、好調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は大幅に増加いたしました。

MWS(マルチワイヤーソー)では、結晶関連客先への販売が堅調であったものの、LED関連製品市場の装置需要は依然として回復していないことから、全体的には低調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。

その結果、売上高は38億31百万円(前年同四半期比11.8%増)、セグメント利益2億74百万円(前年同四半期比410.1%増)となりました。

(繊維機器事業)

アパレル業界においては、設備の更新、増設が先送りされている状況が続いているものの、経済産業省「ものづくり補助金」等の経済振興施策を活用し、装置の更新、増設に動くメーカーが出始めている状況であります。また需要につきましては、2010年より航空機製造業界に販売を開始したCFRP用裁断機の需要が堅調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は増加いたしました。

その結果、売上高は3億4百万円(前年同四半期比37.9%増)、セグメント損失0百万円(前年同四半期はセグメント損失65百万円)となりました。

(医療機器事業)

医療機器事業においては、第58期より経済産業省が推進する平成25年度課題解決型医療機器等開発事業(現平成27年度医工連携事業化推進事業)を行っていましたが、平成28年3月末日をもって完了いたしました。また、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)が推進する課題設定型産業技術開発費助成金(平成27年度中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業)を活用し、研究開発活動を行っております。当第2四半期累計期間においては、研究開発費が56百万円発生いたしました。

その結果、セグメント損失81百万円(前年同四半期はセグメント損失89百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期における「資産合計」は、現金及び預金や売掛債権等の増加により、前事業年度末に比べ7億51百万円増加し87億3百万円となりました。

「負債合計」は、仕入債務等の増加により、前事業年度末に比べ6億15百万円増加し40億70百万円となりました。

「純資産合計」は配当金の支払54百万円及び当期純利益を1億87百万円計上したこと等により、前事業年度末に比べ1億36百万円増加し46億32百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での通期業績予想につきましては、平成27年11月10日に発表いたしました予想数値に変更はありませんが、このところの世界経済の減速懸念やリスクの高まりから先行きの不透明感が強まっております。また、当社が関わる電子部品業界においても厳しい環境が予想されることから、業績予想は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、修正が必要となる場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位 : 千円)

	前事業年度 (平成27年 9 月 30 日)	当第 2 四半期会計期間 (平成28年 3 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,619,632	2,314,733
受取手形及び売掛金	1,744,698	2,256,255
製品	371,366	612,140
仕掛品	804,108	381,948
原材料及び貯蔵品	124,685	140,315
その他	179,875	168,609
流動資産合計	4,844,367	5,874,003
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	1,417,256	1,376,782
土地	781,479	781,479
その他 (純額)	294,448	296,391
有形固定資産合計	2,493,184	2,454,653
無形固定資産	15,526	28,981
投資その他の資産		
投資有価証券	58,144	64,210
関係会社株式	213,995	0
その他	326,715	281,169
投資その他の資産合計	598,855	345,380
固定資産合計	3,107,566	2,829,015
資産合計	7,951,933	8,703,018
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,341,030	1,710,743
短期借入金	850,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	213,588	263,580
未払法人税等	7,149	7,122
賞与引当金	82,663	134,547
その他	456,560	947,880
流動負債合計	2,950,991	3,563,873
固定負債		
長期借入金	387,432	430,646
資産除去債務	28,973	29,270
その他	87,756	46,428
固定負債合計	504,162	506,344
負債合計	3,455,153	4,070,217

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	2,184,486	2,316,981
自己株式	△17,308	△17,308
株主資本合計	4,482,729	4,615,225
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,049	17,575
評価・換算差額等合計	14,049	17,575
純資産合計	4,496,779	4,632,800
負債純資産合計	7,951,933	8,703,018

(2) 四半期損益計算書
(第 2 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成26年10月 1 日 至 平成27年 3 月31日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成27年10月 1 日 至 平成28年 3 月31日)
売上高	3,647,832	4,135,746
売上原価	2,997,845	3,101,840
売上総利益	649,987	1,033,905
販売費及び一般管理費	751,123	841,163
営業利益又は営業損失 (△)	△101,135	192,742
営業外収益		
受取利息	115	130
受取配当金	75	100
受取賃貸料	5,446	4,867
補助金収入	14,270	14,527
その他	12,910	14,865
営業外収益合計	32,818	34,491
営業外費用		
支払利息	2,909	1,606
減価償却費	5,296	4,675
その他	1,153	1,045
営業外費用合計	9,359	7,327
経常利益又は経常損失 (△)	△77,677	219,906
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,291
特別利益合計	—	7,291
特別損失		
固定資産除却損	—	186
特別損失合計	—	186
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△77,677	227,011
法人税、住民税及び事業税	1,683	1,687
法人税等調整額	8,247	38,223
法人税等合計	9,930	39,911
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△87,607	187,100

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成26年10月 1 日 至 平成27年 3 月31日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成27年10月 1 日 至 平成28年 3 月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△77,677	227,011
減価償却費	84,456	82,940
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△56,400	51,884
受取利息及び受取配当金	△190	△230
支払利息	2,909	1,606
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△7,291
有形固定資産除却損	—	186
売上債権の増減額 (△は増加)	2,004,900	△511,556
たな卸資産の増減額 (△は増加)	511,015	165,756
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,108,810	369,712
前受金の増減額 (△は減少)	△138,746	287,127
その他	△92,017	153,335
小計	1,129,438	820,482
利息及び配当金の受取額	196	241
利息の支払額	△2,648	△1,493
法人税等の支払額	△3,079	△3,334
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,123,907	815,895
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,751	△17,866
無形固定資産の取得による支出	△5,357	△8,635
投資有価証券の取得による支出	△1,197	△1,199
投資有価証券の売却による収入	—	221,286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,306	193,584
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△1,803,453	△650,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△117,134	△106,794
リース債務の返済による支出	△5,744	△6,031
配当金の支払額	△65,426	△51,534
財務活動によるキャッシュ・フロー	△991,758	△314,359
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	△19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	93,869	695,101
現金及び現金同等物の期首残高	1,514,052	1,609,632
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,607,921	2,304,733

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

セグメントの 名称	前四半期 (自 平成26年10月 1 日 至 平成27年 3 月31日)		当四半期 (自 平成27年10月 1 日 至 平成28年 3 月31日)		前事業年度 (自 平成26年10月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	2,595,652	91.4	4,017,760	93.0	5,410,206	93.6
繊維機器事業	243,319	8.6	304,405	7.0	372,536	6.4
医療機器事業	—	—	—	—	—	—
合計	2,838,972	100.0	4,322,165	100.0	5,782,743	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

セグメントの 名称	前四半期 (自 平成26年10月 1 日 至 平成27年 3 月31日)		当四半期 (自 平成27年10月 1 日 至 平成28年 3 月31日)		前事業年度 (自 平成26年10月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
電子機器事業	2,449,512	1,806,631	2,562,652	2,421,050	6,694,824	3,689,738
繊維機器事業	201,860	67,258	378,948	161,663	373,538	87,120
医療機器事業	—	—	—	—	—	—
合計	2,651,373	1,873,890	2,941,601	2,582,714	7,068,363	3,776,859

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

セグメントの 名称	前四半期 (自 平成26年10月 1 日 至 平成27年 3 月31日)		当四半期 (自 平成27年10月 1 日 至 平成28年 3 月31日)		前事業年度 (自 平成26年10月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	3,427,112	93.9	3,831,340	92.6	5,789,317	93.9
繊維機器事業	220,719	6.1	304,405	7.4	372,536	6.1
医療機器事業	—	—	—	—	—	—
合計	3,647,832	100.0	4,135,746	100.0	6,161,854	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 主要な輸出先及び輸出版売高及び構成比は、次のとおりであります。なお、() 内は総販売実績に対する輸出版売高の割合であります。

輸出先	前四半期 (自 平成26年10月 1 日 至 平成27年 3 月31日)		当四半期 (自 平成27年10月 1 日 至 平成28年 3 月31日)		前事業年度 (自 平成26年10月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
アジア	2,275,450	93.2	1,780,145	88.9	3,356,790	92.6
その他の地域	166,957	6.8	222,758	11.1	270,210	7.4
合計	2,442,407 (67.0%)	100.0	2,002,904 (48.4%)	100.0	3,627,001 (58.9%)	100.0